

「フラメンコじゃない。カンテ・ヒタ

棒げたアルテでした。歌い手マヌエル・アグ それが、「生きる神話」と呼ばれた

な声にぶつかる。それが、ヒタ ンテに耳を傾けていると、時折、衝撃的 テに終わると言います。カンテが無け フラメンコはカンテに始まり、カン も、踊りも、ない。そしてカ

マヌエルはこう言いました。て今の現実となって目前に現れるから。 続いた彼らの社種な過去が、一瞬にし えに私たちが想像し得ない、何百年 なぜ衝撃的かと言えば、それはひと

理由がなければ、意味は無いんだ」 じゃない。描くんじゃない。表現する がなければ、散うんじゃない。書くんか、そして何が起きたかを、散う理由 「真実を歌うんだ。何が起こっている

る自由と生きる喜びへの渇望は、彼ら後と絶望、排斥と束縛、それ故に執着す お、声と共にその存在を主張する。 彼らが体験した心の痛みは、親から子、 にしか表現できない、真実の叫びなの しかし、現代にあって、彼らのアルテ から孫へと、脈々と受け継がれ、今な

い者は、隅に追いやられる。ヒターノ前提である時代。それについていけな が第一線を彩る、「売れる」ことが大 は、少数派になりつつあります。馴染 一般受けする華やかなカンテ ドルだったカマロンの

> がこの世を去って行くにしたがって、没後、特に別世紀に入って大御所たち それは顕著になりました。

来ない時代なのです。 なに萎晴らし なりました。現代では、アルテがどん とを聞いてくれる、それを重視するや ては扱いの難しい、価値観の違う彼 るようになると、プロモーターにとっ を受け入れなければ、仕事自体 くれる、「はい、はい」と言う。 ノは、次第に敬遠されるように も、確実に仕事をこ

彼には、今の風潮が理解できない。こ自身のやり方を、自身の歌を賞きますしかしマヌエルはブレることなく いてまわりました。 こともありました。その為に、彼には通り越し、言葉の暴力と受け取られる ぬ物言いで批判することもしばしばで のため、時代の追随者を、歯にもの着せ した。そしてその言葉は、時に批判を

こう語っています。 也ませんでした。彼は、晩年に受けた はを持つその歌声は、人々を決して放 しかしそれでも、絶対的なカリスマ 「ボス・デル・スール」のインタビューで、

ナ、カマロン……、俺が世に出

後に趾に出たのが俺だった。 たとき、彼らはすでにそこにいた。最 - ロ(純粋なフラメンロ)で戦ってきた。 それからずっと、俺はフラメンコ・プ

人気を得るようになり、大会場を埋め、同時に、いわゆる。パジョ。の若手が

テ、テレモーき、パケーラ

のヒターノには良くあることですが、と言われています。しかし、この時代 分かりませんでした。 ル自身もずっと、自分の正確な年齢が 年月日は、寒はわかりません。マ 出生を届け出なかったので、本当の生

ぎと同じさ。でも、それで良いんだ。「書類は何もない。そこいらの野うさ

みんな居なくなって、何でもかんでも

マヌエルは、惜しまれつつ、20めているんだ……」 俺は辞めやしなかった。そして今少し。モデルノ (現代風)。になった。でも ずつ、皆がフラメンコ・プーロに戻り站

76歳の人 年12月25日クリスマスの日に、闘病中 だった癌がもとで、ヘレスの病院にて、 生を閉じました。

が若い世代に贈った、新しい時代へのたれた瞬間だったのです。それは、彼 立った時、それは、親から子へ、子から終わるとは言わなかった。彼が天に旅 自身は決して、彼の死をもって何かがった。と言う人も居ます。しかし、彼 った」と言う人も居ます。しかし、彼の死をもって「一つの時代が終わ 孫へ、永遠に続く愛が、敷と共に空に放 ールでした

して彼は、正しかった。

決して手放きなかったその。家。に、フラ辿っています。 彼が信じたカンテ、彼が メンコが帰り支度を始めているのです。 スト達が、フラメンコの本質への帰途を 今や、カンテに限らず、全てのア

自由に、奔放に

マヌエル・デ・ロス・サントス・バス

他は自由に生まれ、自由を生きている。 地様に感謝しているよ」 だから、16年と言われる生涯は、本当 だから、16年と言われる生涯は、本当

時でした。 そんな歳という概念に因われない した、自由を謳歌した人生

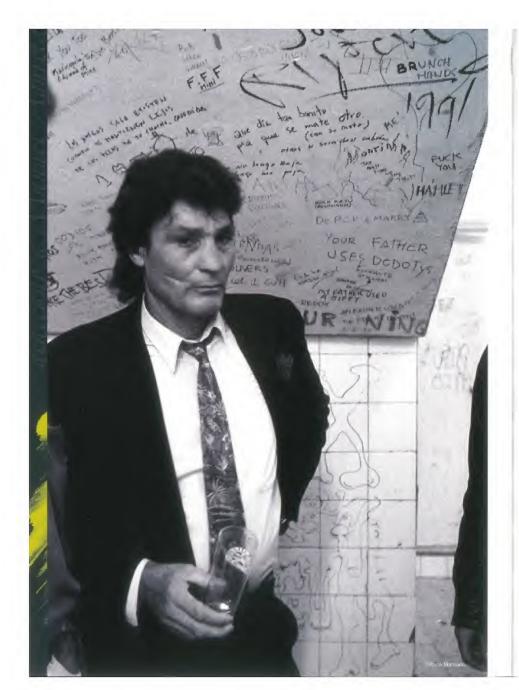
彼が、棒大なフラメンコの家に生ま ともあれ、明確に刺っていることは

治場で父の仕事を手伝いながら、カ た。母ブナも、「エル・マンコ・フス 「エル・アダヘータ(後のアグヘータ エホー」という愛様で呼ばれていま ヤラオの家系を継ぐカンテの名人で ルは、そんなブラメンコな環境の中、最 カンテに親しみました。我らがマヌ (マヌエルの祖父)と呼ばれた父の下 父マヌエルは、ルビー を学んで行ったのです ーチ、ボネオ

の名を継ぎま オも歌い手となって、「アグヘータエルの子供たちドローレスとアント ナもセミ・プロの道を辿り、後にマ 人のり人兄弟のうち、ディエゴがア マヌエルのほかにも、男が5人、女が

収し、自分の歌を作り からプーロ・フラメンコをどんどん吸 チョコラーテと、自身のア ヌエル・トーレのカンテを教科書にしてヌエル・アグペータは父、そしてマ て、その才能を目覚めさせてい ーレのカンテを教科書に

970年、同郷のフラメン



コ職者マスエル・リオス・ルイスの薦めコ職者マスエル・リオス・ルイスの薦めでアルバムを繰合に見っている研を移します。そして、プロとしての本格のな活動を開始しました。

「タブラオは好きじゃなかったし、ベーニャで歌うのもいやだった。 勢で払いの為に歌うのは我優ならなかった」、ベ

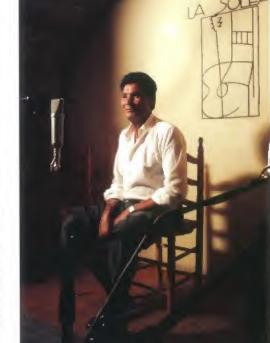
とは言うものの、ペーニャやタブラオ「カフェ・デ・チニータス」に出演をオ「カフェ・デ・チニータス」に出演をオ「カフェ・デ・チニータス」に出演をで、マカイ・シドロ・サンルーカルの等で、マリサイタル・シリーズを行い。72年にはヘレスのフラメンコ学会より「カンテ国家賞」も受賞しました。り「カンテ国家賞」も受賞しました。

その後 アメリカへと前立ち ニューヨークで活躍。その流れからメキシコ、日本・オーストリア、フランスと、歌い日本・オーストリア、フランスと、歌いの家を鑑さて、やっとスペインに腰を落ち着かせました。

1987年に重い病を思った際は、マヌエル・リオス・ルイスが音頭を取り、ヘレスで、彼へのオマージュ公園が行われ、数多くのアーティストが集まり、

痛みのカンテ

寒で花年に発表したデビューアルバムを製作しまして、13枚のソロアルバムを製作しまして、13枚のソロアルバムを製作しまして、50枚のメロアルバムを製作しました。



プレエホ・カンテ・ホンド」、99年、マドリードのコルマー・ラ・ソレア」でライードのコルマー・ラ・ソレア」をラインの提案では出収録さか、デメルチョール伴奏でけ出収録さか、たまの一を発売のCDブック「24れた200日年発売のCDブック「24れた200日年発売のCDブック「24れた200日を指摘みの「ビストリア、プレサ、イ・ヴァンダアルデル・フラメンコーが発売されました。

に多大な影響を与えた。アンダルシア水した彼ですが、後のスペイン音楽界水した彼ですが、後のスペイン音楽界がした彼ですが、彼のスペイン音楽界が、これではないできない。

生まれのロック・バンド「スマッシュ」生まれのロック・バンド「スマッシュ」と、レコードのAB面を分け合った、レコードのAB面を分け合った、セーンタアル・アラメンゴ(前衛と維持なフラメンコの競演ほどの意)(一978)という、

アルバムになるわけですが、一枚のアアルバムになるわけですが、一枚のアルーブのコンピレーション・ニーのがルーブのコンピレーション・アルバムになるわけですが、これは、共演、ではなく、

ルバムに、伝統と現代音楽という、水と地のように相反するスタイルのグルー 対を入れたという、当峰にしては寄天 ブを入れたという、当峰にしては寄天 がは、別なアイデアには(きっとマヌエルは) 激怒したでしょうが)、中々、興味深いものがあります。

@Paco Mengano

としまったオーディエンス 当時の順が固かったオーディエンス 当時の順が固かったオーディエンス パンコーフュージョンに企学等を立てた。カマロンがドローレスを接続したた。カマロンがドローレスを接続した。カマロンがドローレスを接続した。カマロンがドローレスを対している。



©Cominique Aber

996)への果け締的存在になったと

タの像が散費されました。自宅がある タの像が散費されました。自宅がある タの像が散費されました。自宅がある タの像が散費されました。自宅がある タののない。 カンタオール」(19 988)には、後の全てが詰まっています。 2013年には、ヘレスに、アグヘー 2013年には、ヘレスに、アグヘー

 像を前に、彼は、笑顔を浮かべたと言いロテへ続く道の入り口を見つめるその

マヌエルは、純年もフラメンコ・フェスティバルに出演するなど、ステージに立ち続けました。2015年、亡くなるかの日まで、マヌエル・アグヘータは、他の誰でもない。自分。であり彼けま、他の誰でもない。自分。であり彼けました。その歌も、生き方も。

こにある。

心に残した、痛みの熟は、いつまでもそ

である。 でも消えることはない人でもありました。多く のアフィシオナードが家を流した、あ のでフィシオナードが家を流した、あ のです。

Antonio Soto

ギタリスト

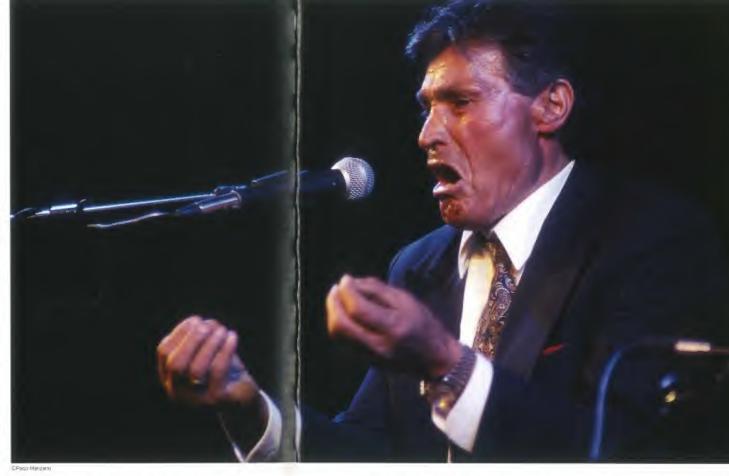
一様は、彼の幾乎を可じず間、後の任業を 一様は、彼の娘子を強いた。マスエルといることは、終わりのない勉強だった。 彼は本物のブラメンコブーロ。彼の 彼は本物のブラメンコブーロ。彼の 独はいつも、新しい何かで僕を戴かせ まないなくなり、僕は今、我を亡く た。彼がいなくなり、僕は今、我を亡く た。彼がいなくなり、僕は今、我を亡く して、心底、残念に思う。

思い出話は沢山あるけど……。そうだ、カフェに行くと「彼は必ずコーヒーだ、カフェに行くと「彼は必ずコーヒーを頼んだな。それでウエイターに、こを頼んだな。それでウエイターに、こと頼んだな。それでウエイターに、こと頼んだな。それでウエイターに、こと頼んだな。それでウエイターに、こと頼んだな。



エステラ・サタニア Estela Zatania

| カ出身のフラメンコ・ジェーナリスト。



ファン・カルロス・トロ Juan Carlos Toro

ヘレス出身で、現在、ヘレスの町の「型」 ラメンコたちの面像を映し出すプロジラメンコたちの面像を映し出すプロジラズス」を展開中。

なければと思っていた。でもみんな、ティストの中に、アグヘタは絶対入れた上げたとき、ヘレスを代表するアーち上げたとき、ヘレスを代表するアー エル・デ・ロス・サントスは難しい

の叔父だと伝えたら、彼は態度を軟化的叔父だと伝えたら、彼は(ノー)と言った。当然のごとく、彼は(ノー)と言った。 壁一面に映し出される旨を伝えたとき、欲しい。そして、その写真は後で街角の て彼に電話して、彼の写真を撮らせて人だから無理だと言った。そして初め くれたんだ。

をパシャパシャっと押しただけで、〈そばならなかった。一度目はシャッター れで十分だ〉と言われてしまったから。 写真のセッションは二度行わなけれ すことができたんだ。

てくれて、今度は歌ってくれて、その姿には歌がなかったので、前回の写真はんだと聞いてきたので、前回の写真はんだと聞いてきた。 彼は承緒してくれて、今度は歌がなかったので、前回の写真は とらえる事ができた。

った。それで、インタビュー映像も残からなかったので、残念に思って、友人からなかったので、残念に思って、友人からなかったので、残念に思って、友人に、フラメンコ界の色んな話をしてくに、フラメンコ界の色んな話をしてく 彼の家は5回ほど訪ねたが、その度

当に残念だ。フラメンコ界にとって、かっと完成した今、協力してもらっか、やっと完成した今、協力してもらった。又メルに見てもらった。では、本に残るが、やっと完成した。

ことは全然、知らなくて

「もちろん、まだ巨匠と言われる吹い ©Pago Sanchez

終わりの無い怒りを激情の声に。 トール。アグヘータ。の、あの覚々しい、る。マスエル・デ・ロス・サントス・バス ないことに、とても深い悲しみを覚えだろう。 私が娘する歌い手達は他にも 最後の、代養者だった。彼の死をもって、手達は残っているが、マヌエルは、すで は、終婚を迎えたと言わざるを得ない

私がマヌエルとよく会っていたのは、 私がマヌエルとよく会っていたのは、 を関だ。その頃の思い出は、これと言 た頃だ。その頃の思い出は、これと言 た頃だ。その頃の思い出は、これと言 た頃だ。その頃の思い出は、これと言 な、無防備な後の値は、見たことがない れおちそうな顔を見て、こんな人間的 合を見に来ていた。 私はその喜びで屋 いる。マヌエルは、宜慢の娘の晴れ舞



て、唯一無二であったように」 彼の存在が、その才能と純粋さにおい

こんな損失はも

う二度とないだろう

ドミニク・アベル 映画監督 Dominique Abel

製作したかを、彼への熱い狙いととも あたり、どうしてアグヘータの映画をある。彼女は、本誌のアグヘータ特集に く愛ずるカンタオール、マヌエル・アフラメンコの世界では、彼女がこより 映画監督となったドミニク・アベルは、 ンタル「アグベータ、カンタオール」(1 ータの人となりを描いたドキュメ ○ の監督として広く知られて ンス出身で、モデル・女優を

「全て」を知って欲しいからだと、彼のれたら、私はいつもこう答える。彼の 彼と映画を撮った動機は何かと関か

たちは、言葉を確える情感の、囚われ人たちを補ちえて離さない。そうして私 **唐されて、聞き取れないこともある。** たくれも無い。時に言葉は破壊され、 でも、彼が素明らしく歌ったときは、私 マヌエル・アグヘータが眠う、あの口 それは誰んで、ひしゃげて、出よう 名音されらなってある。 愛想もへっ

今も前、独特のスタイルが息付いてい 彼らがその証だ。プラスエラ地区には、マヌエル・モネオ、ルビッチ、ミヒータ、 歌い方は、ヘレス独特の物だ。トルタ、 れた音のアクセサリ この、言葉を、こぶしのリズムで彩ら 「に変えてしまう

アグヘータの吹、それは、永遠の。円。

キイキイと、傷口から離れ続ける。そは、自分の中に音を探す。それはいつも、ら、唯一無二のそれを、歌っている。彼 歌い手はとても少ない。 なカンチを取り、そんなことが出来る して痛みに直接訴える。 テ、ファンダンゴ・ソシア、シギ 、メロディーの無い、モノ 1モニーの

という意味ではない。彼は、いつも、どまれ変わり。でも、ナルシストだった 後で は誰の生まれ変わりでもない。彼は、 けれど、友人であっても、彼は本当に難分前から、彼に憧れ、慕い続けている。 おことになったことも、私は、もう随 してのキャリアに、高い代債を払わせその社会を否定する無理が、歌い手と な性格も、知っておくに備する。 んな時も、彼だったということだ。 しい人だったと言わざるを得ない また、消費社会を与み取う、彼の祖問 しかなかった、彼は、彼自身の生

感情を、まるで天から受けた健命のよ 価値観を確なに置くその怒りにも似た 自分自身だった。彼は孤高なアナ 持っていなかった。彼の基準は、全て、 自分について書かれた記事も、何一つアダヘータは、録音したアルバムも、 うに、一心にカンテに往いだ。 であり、そして他を排斥し、自身の

はすでに、彼とけ年間の付き合いがあ ブラメンコなやり方が。撮影当時、私 なかっただろう。彼の行動には、いつも、 ら、世間は、この全てを知ることは出来もし、私があの映画を撮らなかった

> が廃金で摩大な中で、私がそれを働くい面を引き出すよう、彼を導いた。後い面を引き出すよう、彼を導いた。後の一番素明らしたのない。 うに、それが、私がこの映画で持った使 闘牛士という感じだろうか。後の素晴 ったから、彼が思う

説明出来ない。彼がいなくなって、私どんな意味を持っていたかは、容易にマヌエル・アグペータが私にとって がどれ程、孤独で、心細いかは、誰にも えないだろう

石。が眠っていた。ダイヤモンドの。原 界へのドアを開いた。そしてそこには、 私は、摩訶不思議な、想像もつかない世 と自負している。彼と出会ったことで、 もっと少ない。しかし私はその一人だっと少ない。本当にわかっている人は

まで、人は前う。「人々はカンテに数ば分からないのだ。ずっと、心に届く 息を払わない。カンテがわからないか それを理解した者が、どれだけいただ彼の機綱さの裏返してあり、はたして、 情熱を持つて彼が受け継ぎ、守った伝将たとはいえない。彼の歌は、誇りと 統であり、そこには、怒り、が違ってい ろうか。彼の歌は、何度も聴かなけれ しかしそれは、投げたら戻ってく

彼のアカテがわかる人は少ないが、

その生涯で、彼の歌が、十分な賞賛を

といったから、深く眺かなければならないのだ。そして私は後に、「私は、それなたの歌に痛みを感じる。私は、それなたの歌に痛みを感じる。私は、それないのだ。それないと私は思うから。 ら。カンテの深い間を理解す るのは難

10

だけだったが、今は、残念をがら、私はいていない。最初は、ただそう感じた そう確信す 議者たちは、その養越たる事実に気づ な損失であると。しかし、フラメンコ った人を失くしたことは、本当に大き ルチ、唯一無二の情熱と生きる力を特中で、彼のような真実、魂に入り込むア 代を生きていると、日々思う。そんな した、野蛮で軽率で腐敗した媒像の時 私は、壁と偽養が渦巻く、お金を頼と

アントニオ・アグヘータには、その。値だらの一人として、私が言おう。息子者、そして、それを必要としている。者 他。を、絶対に認めてあげなければなら たちが言わないのなら、分かっている。 ・ 議者 て閉じられてはいない。彼の娘ドロー は大きな間違いだ。それはまだ。後しは関じられたと思う者がいれば、それ によって、彼が守ったカンテのベージ深刻な問題だ。しかも、マヌエルの死 レスも、そして息子アントニオも、前に る。 そしてそれは、とても

それは、このことを維弁に物語る、彼が 分の遺灰を日本で撒くように頼んだ。ヌエルは、米亡人となったカナコに、自 迫いつこうとしない。だからこそ、マ るにも関わらず、このアルチの高みに スペインは、フラメンコの母国であ

かしい英願を、これからも抱いて行こータ、カンタオール』で見せた。彼の却ータ、カンタオール』で見せた。彼の却取った、非常に象徴的な、歯代実開のジ取った。非常に象徴的な、歯代実開のジ

とっておきの話が、一つある。 追悼文を締めく はどこかで書かなくちゃと思っていた ルとの思い困は沢山あるけど、いつか 最後は、マヌエルとの思い出で、この

80年代初頭のある日、パリのチェイ 一宮殿を、マヌエルと一緒に散歩

なんだ! 叫んでいて、私はビックりして笑って モー」と私に助けを求めてきた。それなんだ! 娩はこの人たちを知らない 分からなかった。すると、彼らが興奮 全然知らない言葉だったので、私にはイタリア語でもロシア語でもないし、 ら来た人たちなのか、英語でもないし、 ラン・ドロンと で、よくよく聞いていると、彼らは「ア マヌエルが振って「この人たちは、何 して、マスエルにサインを求めるので、 していたとき、私たちの後ろを観光客 アラン・ドロンチ」と

タリしてしまった。 | 有名な映画スタ アラン・ドロンになるのだ! それで、一体、何がどうなったらマヌエルが るとマスエルは紙に「A」とだけ書い 「あなたがアラン・ドロンだって!」と ラン·ドロンからサインをもらったと かった彼が書けた数少ない文字だった て、彼らに渡した。それは、字が書けな やあ、サイ んだけど、とにかく、観光客たちは、ア 上「何言ってんだ!(美) と、彼は「アラン・ドロンって、 してやろうかな…

彼が初めて棒帯電話を持つたときも、大喜びで去って行った。 大騒ぎだった。

帯を最治台に乗せ、かなづちを手にも い。その上、話したくない人から電話 い。 ものの2分で粉々になった。 まず、どうやって使うのか分からな -1|・三で振り下

ギタリスト

マメエルの家でバーペーキューした すべ声がゴロゴロ乗っかってるんだ。 が好きだったんだる。都会は嫌いでね。 いた人間だから、一般人とはかけ離れか、鍛冶で働いたりして青って生きて 普通の人と違っていた。なんて言って のない、野性的な人間だったよ。現代 いいか分からないけど、まったく秩序 能にとってマスエルは特別な人で、 タリスト 気材協力 石塚隆茂 人間ではないからね。野原で釣りと

能のオジ い肉を卑に刺して「ホラッ!」って差チェレータを縦むとさ、そのバカでか 親父が歌ってた」とか、ね。 の肉の塊を5、6個単判しにして"こ カンテのことを聞くと「この歌は俺の と、ギタリストのパリージャのお父さ でも、時には愛嬌たっぷりにチステんな調子でとにかく猟野だった(笑) とにかくバカデカイやつ。それで彼に んと一緒に仕事をし始めた時のこと。 上出すんだよ。それも300mくらい ちゃんと働いていた時のこ れたよ。酸滸屋で

父さん(アグヘー の歌はマヌエル・ト を聞いて育ったんだ。だから彼とステ ヘーター族に伝わる歌だろ。俺はそれ ルビチの祖父の弟) が歌っていたアグ はマヌエル・トーレをはじめ、俺の「は敬の頃だったかな。マヌエル ちゃん(ルビチ)やマヌエルのお ジで彼の怪奏をしたの

よ。 ージで演奏するのは自然なことなんだ

があったえ にかく数々の素晴らしい歌を聞く瞬間 スティバル、彼の家で演奏した寺られ 年のヘレスのフェスティバルかなっ 明らしい歌だった。最近では20

演奏前は能も彼に近づかなかったな。 は、能は一度も無かった。他の所であ は、能は一度も無かった。他の所であ イで特殊な人間だったのかもね。とうちの上さんくらいだね。彼ほシャ 楽屋にはマヌエルの臭さん、そして俺 マヌエルと一緒に過ごして城なっと

った。だって彼のカンテはフラメンコだから時間があっという間に過ぎてい く歌になってるんだよ。 調でも、聞くたびに、この前と全く別の彼の歌う全でを感じられたよ。同じ歌 の辞書みたいなものだろ。いつも横で マヌエルの伴奏は凄く楽しかった。

ル、エンリケ・メルチョール・モライーウヌエル・モラオ、マノロ・サンルーカんではなくで、カンテを怪姿しるとっ テの伴奏なんだから なかった。短いので良いんだよ、カン 彼が求めていたのは歌の伴奏のみする タは必要なし、色々弾くギタ ギターだった。だから扱いファルセト ライブ、録音とか沢山あるはずだけど、 彼は歌を邪魔しないギターを好んで とか、ヘレス層辺のギタリス 自分の準備しているモノを弾く

彼がステージに上がると観客は皆

えて、これから俺は何をやりゃーいいにす、5人歌い手がいると、昔が口を倫胸がいっぱいになっていた。同じ舞台

今日はどんな歌を歌



マヌエルとのこの技験後の写像、含マヌエル。 右ミゲル。 中華者。 2016年夏。

最んで行ったよ。医者は、「もうお手 たけだ」と言って向こうへ行っちまった。 意識 そうロットして 確ているおめた。 意識 そうロットして 確ているおめた。 意識 そうロットして でスエル! 早く日本へ行こうぜ!」と呼んだ。 すると、おめえはチューブだらけの酸の、 裏抬 と入意し指を合わせて スリスリしやがった。 (会)という意味だ。) 製冶屋のサルバドールとおればそれを見て大笑い ついてよろよろと、一緒にブエルト! とれでもおめえが追院して元気になり、状を目おめえが追院して元気になり、状を目おめえがあるった。後 の数を上った時でしみ

あ。おめえは導んでカカカと笑い「と をから慇懃まつて、打めえに電話し で、「オレー! エルメホンデルムン ド!(世界一)」と言ってやったつけな うのだった。

ある月の美しいマドリードの晩に、 テの詞を

ヌエルの兄) から連絡があっておらっ に、入炭した。 義兄弟のホアン (マイスのモラ頻院のウビ (集中治療

に会えた。(当、おれの女房を見る女り、 をかい出さで、おれは死相を感じた。 をいい出さで、おれは死相を感じた。 に会えた。(こうない) マドリードからチビオーナ郊外の家にといたほうがいいぞ」と言われ、翌日といたほうがいいぞ」と言われ、翌日だけど今回は、従弟のミデルから電 **奴だった。とんだ「受給当知」だった。)** 「妊娠してる!」と教えてくれたのも 行った。こその話は他のプログに寄稿

日本でもスペインでも、おれはおめえどとにアッ、マヌエルは死んがんだ、とごとにアッ、マヌエルは死んがんだ、と おれは今、ひしひしと寂しい。こと

ことだった。いや……3年前だったか明ってくれたなあ。あれはつい去年の を思い出して電話したっけ。 ように、帽子を漂くおまえにかぶせた」 歩きながら、おめえの喰うソレア「お めえは、新作のマルティ

ミゲルはまだ何も言って来ねえけどな

は他の歌い手なぞ鼻もひっかけないがアナーキーなで唯我強敵のマヌエル 同マスエルは実に嬉しそうに彼女のカ bの症)といっ緒に出て来て、ひとりず眠がマヌエルがトマサ(マヌエル・ト) ンテを聴きハレオをかけていた。 つ歌ったのだが、トマサが歌ってい いたという事だ。 いたという事だ。 いたという事だ。 いたという事だ。 いたという事だ。 いたのは圣職の技だったの があると、これ程強烈を個 があると、これ程強烈を個 測に素晴らしいものには敬意を払って

は全く逆行した次作「シエン・アーニ変わり始める頃だが、そうした動きと 登場によってフラメンコの流れが再び

一は塩快だったと、その後も全くブス・アトゥラスーや「ポル・デレーチ

ずに活動し続けた事には敬意を表す

堀越千秋

「マヌエーが死んだ」

常在、東京を中心に多くのコンサート

がある。昭年初来日した彼は数ヶ月マヌエルとの間にはいくつかの思い

マヌエー、おめえが死ぬとは思わな

日池袋の地下3日のスタジオでやった を行ない。私も何度か伴奏したが、最終 この時マヌエルはベベ島田のギタ トは素晴らしかった。

怒られる羽目になった。しかもこのあ 程だったが、ビルの間まる時間を過ぎ 程だったが、ビルの間まる時間を過ぎ 招聘した東祥大の森内教授は我が家にとマヌエルとはもめて結局喧嘩別れ、とマヌエルとはもめて結局喧嘩別れ、 ジャは本当に聴くて思わず身襲いする たのは後日時、最後に歌ったシギリーと我に乗りに乗って歌い心らず終わっ

Lだよ。彼はこの世に沢山の歌(CD歌を好きでないと、それはオカシイン

カンテが好きならマヌエルの

ビデオ、カンテンを残して

れた

、 みマヌエルが朝まで歌ってくれた事だ。 にいつ緒に行って、そこで禁き火を囲 ビール川の河原にあった友人の総合場 でこれで報われた ビエナルに関しては色々大変だったの ナル音楽器に出演した後、グアダルキもうひとつは88年セピージャのビエ という気持ちだ

イスト達と最高のフィエスタで楽しん の世から去っていったヘレスのアーテ である。

にとっての遺産で、俺たちを満足させ 今後のフラメンコ・アフィシオナードキニオをこの世に送り与えたことも、れに、娘で歌い手のドローレスやアン

エンリケ坂井

マヌエルの初期の録音は素晴らし ンド」には私も唸らされた。

『ビエホ・カンテ

がする。チラリと顔が見えたらマスエ 影でオレ、オレノと順んでいる男の声 が吹っているのを聴いていたら相暴の 垣間見た ていたのだ。 ルで、彼はこよなくチョコ様を修敬し あと1回ほやはり制場で、どういう 又、彼の持つアフィシオンの一端も ある時劇場でチョゴラ

特別寄稿 本当に自由になったと信じたい。

らねえ。当りとで、失きでるつもりで らねえ。当りとで、失きでるつもりで だんだ。 し、いや、今でも生きているのかも分かかった。おめえはいつでも生きていた

自慢して、秋だったのに水浴をしたら ロヶ郊外の荒野の一軒家に、うすら れは何十年前だったかなて、おめえばという値境に手が届きつつあるが、あ 一度死にかかった。 おれも過去のことはどんどん忘れる





en San Diego (1985)

アグヘータのDVD 「Agujetas en San Diego(1985)」リリース

死の1ヶ月前、夫のマヌエル・アブヘタがDVDを製作すると言いだした。そのきっかけとなったのはア ・リカの友人Mara Cohenから送られてきた一本の年季の入ったVHSテープだった。テープをヘレスのス タジオでデジタルに変換してもらい、選曲と機器をアグヘタが指揮し、写真器がもすべて自分で行った。 事の発端となったVHSテープは1985年8月5日、アメリカSan Diegoに当時存在したペーニャ・フラメ ンカで収録された。フランコ死後とはいえ鶴屋権を中ないスペインが発慢できなかったアグペタは1980年 は、アメリカ人を矢に押つ転2人の居住するSan Diagoを拠点として北米を中心に公策活動を行っていた。 カバーの写真はアメリカ海軍の大佐で、しかもアーミッシュである機弟Pobertoの制限を置て機能したも ので、政策はず存在する本人の写真の中でも特にお気に入りの一枚に数えられる。

アグヘタのトレードマークともいえる右線の機と資金の範囲は、このビデオが製造されるもとっと前に利 印きれた。一人でメキシコを自動車旅行中、事故に譲ったアゲヘタは、地元の救急病院で帰の傷を総合され た。欠けてしまった範囲6本はメキシコ液に24金で再構築された。

2015年12月24日、死の前日にヘレス興発に入院もたアクヘタは、tabricaから届いたばかりのDVDの仕上がりにいたく満足し、「退聚したら これを表って、そのお金でponeors (卵をたくさん度もの人鳥)を関わう]と私に持った。夕暮れになると台頭に立ち、「今日はpapa con nuevo (じ ゃがいもと眺の料理。だ」と言いながら私たち2人分の食事だというのにじゃがいも10個の皮をむき。巨大なフライバンに150mtのExtraヴァージ ンオリーブオイルを注ぎ、11個、12個の銀を動いよく割り入れて強火でぐつぐつと残るアブヘタ。あのひとときを私は二尾と取り戻すことがで きないのだろうか。 文:油田佳奈予(アグペータ夫人)

Vestida de negro luto

黒の喪服を着た自分の姿を お前は町で見をければ立らないだろう 職かをければならない

Te tienes que ver por la calle Te has de hincar de rodillas Para que me pare y te hable

私が立ち出まってお前に話しかけるためには ("Agujetus en Sun Diego" L.Solca より)

ライナーノーツより一般抜粋

本気だったら、バセオ

追悼特集

ヌメロの常識 Taranto

いよいよ祭日! イスラエル・ガルバン エスペランサ・フェルナンデスインタビュ

ヴォダルツ・クララ / 三四郎 / ラス・ミナス・プエルト・フラメンコ



のBIGセール



ISBN978-4-89468-328-0 C0373 ¥733E

> バセオフラメンコ 2016年8月1日展行(每月1回1日発行)通要386号

> > 定価:本体733円+税